

報告第18号

一般財団法人西海市農業振興公社令和5事業年度事業計画及び予算並びに令和4事業年度決算報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、一般財団法人西海市農業振興公社令和5事業年度事業計画及び予算並びに令和4事業年度決算について、次のとおり報告する。

令和5年8月31日

西海市長 杉澤 泰彦

# 令和5年度事業計画書

## I・事業の基本方針

わが国の農業は気候変動やそれに伴う自然災害、農業従事者の減少や高齢化等による生産基盤の脆弱化など厳しい状況に直面している。

西海市も例外ではなく、農業従事者の70%以上が65歳を超えているという統計が出ている。

一方で、既に基盤整備が完了している西海町丸田地区や、現在整備中の西彼町白崎地区・小迎地区・面高地区、計画中の西海町太田和地区・天久保地区等では、若手農業者を含む担い手が早期完成を待ち望んでいる。

その様な中で西海市農業振興公社は事業の柱である農地中間管理事業の推進を加速させ優良農地の集積を更に進めることで、意欲のある農業者の生産基盤の強化や農業所得の増大を後押ししていきたい。

また、農業をリタイアや規模縮小を計画している農家への対応も併せて行わなければならないと考える。リタイアや規模縮小で耕作を断念した農地が荒廃する前に次の担い手にスムーズに貸付が出来るよう、地元の農業委員や農地利用最適化推進委員の方々と更に連携を図っていきたい。

農作業の労力軽減措置として取り組んでいる「農作業支援事業」であるが、令和5年度より籾の乾燥機を1台増設し、籾乾燥機は3台体制で事業を行う事となる。これにより作業効率が向上し更なる農家からの作業依頼への対応が可能になるとともに水稲の作付面積維持にも大きな役割を果たすことができる。

西海市が栽培普及を行っているアボカドやオリーブについては、西海市農業振興公社として今後も栽培者の拡大を進めるとともに、各生産グループと連携し栽培技術の確立に努めたい。

6次産業化の推進については市内の農産加工グループの活性化支援と併せて県立西彼農業高等学校との共同開発事業を継続し、西海市の農産物を使用した商品開発を行う。

## II・事業内容

### 1. 農地中間管理事業

農地中間管理事業とは「農地を貸したい人」と「農地を借りて農業をしたい人」を結びつける公的制度である。

長崎県農業振興公社（農地中間管理機構）から業務委託を受け事業を開始して9年が経過し、農業者にも広く認知され農地の貸借相談も多く寄せられるようになった。

現在、各地域で実施及び計画中の基盤整備事業についても、事業実施エリア内の全ての農地を農地中間管理事業で担い手に集積・集約を行う事で、工事費の地元負担が大きく軽減することができる。

今後も各地域の基盤整備推進委員会等に積極的に参加し、農地中間管理事業の活用を促して行きたい。

また、地域の協議により将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を市町村が定め、それを実行することが法定化された。「地域計画」を策定・実行していく為には農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化など農地利用の最適化を進めることが重要となる。「地域計画の策定」は、地域の農業を維持・発展していくための第一歩であり、その中でも大きな役割を担うのが農地中間管理事業である。

今後も、長崎県・西海市・農業委員会・JA等の関係機関と連携して事業推進を行って行く。

※令和5年度の農地集積目標：35ha



太田和地区基盤整備事業営農検討委員会  
(令和4年9月28日)



天久保地区基盤整備事業地区説明会  
(令和4年8月3日)

## 2. 農地管理事業

平成22年度より農地利用集積円滑化団体として指定を受け農地利用集積円滑化事業を活用し、地権者と担い手の間に農業振興公社が入り農地の貸借を行ってきたが、平成26年度から農地中間管理事業が開始され、西海市農業振興公社が行う農地の貸借は農地中間管理事業に一本化された。今後は最長で令和9年度で契約期限を迎える農地利用集積円滑化事業で貸借した農地を随時農地中間管理事業へ切り替えていく。

また、西海市から借受けた圃場に植栽している原口早生についても、今後も引き続き管理を行い、地元の小学生に社会科の課外授業の場として提供し、収穫体験等を通じ地元の特産品に親しみを持ってもらえる機会を増やして行く。

収穫したミカンについては、西海市主催のイベント等で販売を行い、西海市農業振興公社のPRに努めたい。



西海市立西海東小学校 3年1組みかん収穫体験  
(令和4年11月7日)



「ぎゅぎゅっと！西海フェス2022」出店 みかん詰め放題  
(令和4年11月13日)

### 3. 農作業支援事業

令和4年度は稲刈り作業受託の計画目標 950 a に対し 1,106 a の作業受託を行う事が出来た。(令和3年度実績 919 a)

今後は更に農業者の高齢化は進み、稲刈作業やその後の籾の乾燥作業の依頼が多く寄せられることが考えられる。その依頼に対応すべく令和5年度からは新たに籾乾燥機を1台増設して、籾乾燥機は3台体制で農家の要望に答えていきたい。

稲刈り作業の依頼が増加するのに比例して、刈取り後の籾のJAライスセンターへの搬入依頼も増えてきている。西海市農業振興公社の稲刈り受託と、JAのライスセンター利用の併用により、水稻農家の更なる省力化に大きく寄与できると考える。今後もJAのライスセンターと連携を取り事業を進めていきたい。

また今後はオペレーターの育成にも力を入れたいと考え。機械操作の技術の向上を図ると共に、登録オペレーターの増員も検討していきたい。

田植え作業については、計画目標 100 a に対して 128 a の実績と計画目標はクリアしたが更に受託面積を増やして行かなければならないと考えており、稲刈り作業同様、事業のPRを積極的に行って行きたい。

※令和5年度受託目標面積 稲刈り作業：1,200 a ・田植え作業受託：150 a



代掻き作業



田植え作業



稲刈り作業

#### 4. 6次産業化推進事業

ここ数年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、各種イベントの開催が中止となり市内の農産加工グループがイベントに出店して商品をPRする機会が無かったが、徐々に規制も緩和されイベントも再開されてきた。

今後はコロナ禍以前のように、西海市農業公社が中心となり各種イベントへの出店を市内の加工グループへ呼びかけ農産加工品のPRを行って行きたい。

また、西海市農業振興公社が農家と農産加工グループの橋渡し役を行い、出荷規格外の農作物を加工原材料として活用する取り組みにも更に力を入れたい。

県立西彼農業高等学校の食品加工部の生徒の方々と共に取り組んでいる西海市の農産物を原料とした新商品開発事業についても、近年は新型コロナウイルス感染拡大により部活動にも制限が掛けられた中での活動であった。今後も県立西彼農業高等学校の食品加工部の生徒の方々と新商品開発事業は継続し、発想力豊かな若者のアイデアが詰まった新たな商品の開発を後押ししていきたい。



農産加工グループ J A祭への出店  
(令和5年2月18日19日)

# 令和5年度当初予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和5年度 (a)	令和4年度 (b)	差 引 (a-b)	備 考
I 収入の部				
1. 補助金等収入	16,759,000	14,038,000	2,721,000	
(1) 一般管理費	16,759,000	14,038,000	2,721,000	
補助金	16,709,000	13,988,000	2,721,000	市補助金
雑収入	45,000	45,000	0	冷蔵庫及び冷凍庫使用料他
預金利息	5,000	5,000	0	
2. 事業収入	12,442,000	12,442,000	0	
(1) 農地管理事業	1,773,000	1,773,000	0	
補助金	1,033,000	1,033,000	0	市補助金
農地貸付料	730,000	730,000	0	約20戸分 25ha他
販売収入	10,000	10,000	0	みかん販売
(2) 農作業支援事業	2,600,000	2,600,000	0	
補助金	0	0	0	市補助金
受託収入	2,600,000	2,600,000	0	農作業受託収入
(3) 6次産業化推進事業	983,000	983,000	0	
補助金	933,000	933,000	0	市補助金
販売収入	50,000	50,000	0	アイス・ペースト販売他
(4) 農地中間管理事業	7,086,000	7,086,000	0	
委託料	7,086,000	7,086,000	0	県より受託事業
3. 基本財産運用収入	6,000	6,000	0	
預金利息	6,000	6,000	0	定期預金
当期収入合計	29,207,000	26,486,000	2,721,000	

令和5年度市補助金	18,675,000
令和4年度市補助金	15,954,000
増減	2,721,000

科 目	令和5年度 (a)	令和4年度 (b)	差 引 (a-b)	備 考
II 支出の部				
1. 一般管理費	16,759,000	14,038,000	2,721,000	市補助 16,709,000
役員報酬	1,920,000	1,920,000	0	理事長1名
給与	9,123,000	6,652,000	2,471,000	職員2名+臨時1名×7か月
賃金	0	12,000	-12,000	研修時マイクロバス運転
通勤手当	575,000	496,000	79,000	3名分+臨時1名×7か月
福利厚生費	1,794,000	1,504,000	290,000	社会保険、労働保険他(臨時1名×7か月)
旅費交通費	81,000	91,000	-10,000	普通旅費、理事会、評議員会費用弁償
需用費	901,000	956,000	-55,000	光熱水費・燃料費・公社周辺建物修繕費10万他
役務費	275,000	341,000	-66,000	振込手数料、電話代他
委託料	693,000	693,000	0	PC保守料、会計士システム保守 PC設定料(Windowsサポート終了による)
使用料及び賃借料	816,000	840,000	-24,000	コピー機、車両リース、PCリース
負担金	4,000	4,000	0	社会保険協会費
公課費	71,000	71,000	0	法人市民税・県民税
退職者共済掛金	456,000	408,000	48,000	3名分
交際費	50,000	50,000	0	公社単独
2. 事業費	12,442,000	12,442,000	0	
(1) 農地管理事業	1,773,000	1,773,000	0	市補助 1,033,000
賃金	350,000	350,000	0	中間保有地保全管理、柑橘園作業員
福利厚生費	28,000	28,000	0	労働保険
旅費	12,000	12,000	0	
需用費	338,000	338,000	0	燃料費・光熱水費・消耗品費
役務費	120,000	120,000	0	利用契約に係る郵便料及び振込手数料、共済費他
使用料及び賃借料	730,000	730,000	0	農地賃借料
委託料	35,000	35,000	0	消防設備点検委託料
負担金	150,000	150,000	0	水土里ネット
公課費	10,000	10,000	0	自動車税
(2) 農作業支援事業	2,600,000	2,600,000	0	市補助 0
賃金	1,040,000	1,040,000	0	オペレーター賃金
福利厚生費	45,000	45,000	0	労働保険
需用費	1,312,000	1,312,000	0	燃料代、修繕費、籾乾燥機配線工事他
役務費	128,000	128,000	0	自動車保険、振込手数料
公課費	75,000	75,000	0	車検時重量税・印紙税
(3) 6次産業化推進事業	983,000	983,000	0	市補助 933,000
賃金	7,000	7,000	0	バス運転手等
旅費	27,000	27,000	0	旅費
需用費	62,000	62,000	0	容器・袋等
役務費	80,000	80,000	0	原材料送料等
委託料	745,000	745,000	0	ペ-スト委託、アイス委託、67°プロジェクト委託、西彼農業高校委託増
使用料及び賃借料	10,000	10,000	0	出張時通行料及び駐車料金
原材料費	50,000	50,000	0	原料購入
負担金	2,000	2,000	0	食品衛生協会、責任者講習会会費
公課費		0	0	消費税
(4) 農地中間管理事業	7,086,000	7,086,000	0	県公社より受託
3. 予備費	6,000	6,000	0	
当期支出合計	29,207,000	26,486,000	2,721,000	

# 令和 4 年度事業報告書

## I・【事業実績総括】

2020年の農林業センサスによると西海市の基幹的農業従事者1,185人の内65歳未満の農業従事者は350人で全体の僅か30%であり、現在は更に農業者の高齢化が進んでいると推測される。

また、耕作放棄地の増加などによる有害鳥獣の被害拡大等など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況に置かれている。

そのような状況の中、令和2年1月15日に国内で最初の感染者が確認されて以降急激に感染の広がりを見せた新型コロナウイルスは、令和4年度中は国内感染者が急増し1日20万人を超える感染者が確認される日も多くあった。しかしワクチン接種率の向上により前年度に比べ重症化する患者は少なくなり、今まで開催の見合わせや中止されてきたイベントが徐々に再開されてきた。

西海市においても以前に開催されていた「大鍋まつり」から3年ぶりのイベントとなる「ぎゅぎゅっと！西海フェス2022」を開催し多くの市民の方々が来場した。

西海市農業振興公社も「ぎゅぎゅっと！西海フェス2022」へ出店しミカンの販売を行い農業公社のPRに努めた。

また、現在進行中の基盤整備事業についても西彼町の白崎地区は令和6年度、小迎地区は令和7年度での事業完了を目指し順調に工事も進められている。また、西海町の面高地区は令和10年度、太田和地区は令和12年度、天久保地区は令和13年度の事業完了を目指し、担い手の方々や関係機関と定期的に推進委員会等を行ってきた。今後も地元の農業者等と連携し新たな産地形成に向けた取り組みを行って行きたい。

農家の労力軽減を目的として取り組んでいる農作業支援事業での稲刈り作業の受託は、年々利用者が増加してきており令和4年度については、前年対比の122%の1,106aの稲刈り受託を行う事が出来た。

今後も西海市農業振興公社が行う様々な事業を広く市民の方々に周知を行い、更なる利用拡大を促して行きたい。

## II・【事業内容】

### 1. 農地中間管理事業

平成 26 年度より長崎県農業振興公社（農地中間管理機構）から業務委託を受けて、離農や規模縮小で農地を貸したい農家（出し手）から、農業経営の効率化や規模拡大をしたい農家（受け手）へ農地の集積や集約を推進する事業である。

事業開始から 9 年が経過し、農業者にも広く認知され農地の貸借の相談も多く寄せられるようになった。

令和 4 年度は現在工事中の西彼町小迎地区の農地基盤整備事業が完了した農地を担い手へ配分を行った。今後も随時工事が完了した農地を担い手へ配分を行っていく。

また、毎月 1 回定期的に開催されている西海町太田和地区並びに天久保地区の基盤整備事業推進委員会に出席し、地元担い手や関係機関と意見交換を行いながら事業推進に努めてきた。今後も農地中間管理事業を活用し、担い手農家への優良農地の集積・集約を促していきたい。

－農地中間管理事業実績表－

年 度	集積筆数	集積面積	集積農家	配分農家
令和 4 年度	2 8 3 筆	3 3 . 4 ha	1 2 9 戸	6 4 戸
令和 3 年度	1 4 4 筆	2 1 . 5 ha	9 3 戸	1 2 1 戸
令和 2 年度	1 6 9 筆	2 2 . 7 ha	8 5 戸	5 0 戸
令和元年度	1 6 7 筆	2 5 . 7 ha	8 8 戸	6 3 戸
平成 30 年度	7 5 4 筆	8 2 . 2 ha	1 7 4 戸	8 7 戸
平成 29 年度	5 1 2 筆	7 3 . 6 ha	2 1 8 戸	1 2 1 戸
平成 28 年度	5 7 0 筆	8 1 . 9 ha	1 2 2 戸	7 0 戸
平成 27 年度	3 7 2 筆	3 6 . 3 ha	1 0 6 戸	3 2 戸
平成 26 年度	1 0 0 筆	1 5 . 4 ha	3 3 戸	1 6 戸
累 計	3, 0 7 1 筆	3 9 2 . 7 ha	1, 0 4 8 戸	6 2 4 戸



西海市天久保地区基盤整備事業地区説明会



西海町太田和地区基盤整備営農検討委員会

## 2. 農地管理事業

平成 22 年度より農地利用集積円滑化団体の指定を受け農地利用集積円滑化事業を活用して、農地の出し手と受け手の間に入り農地の貸借を行ってきた事業であったが、農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部改正に伴い、令和 2 年 4 月 1 日より農地利用集積円滑化事業を農地中間管理事業と統合し一体化することが定められた。よって今後は本事業による新たな農地の貸借は無く、これからは最長で令和 9 年度で契約期限を迎える農地利用集積円滑化事業で貸借した農地を随時、中間管理事業へ切り替えていく。

また当事業で公社が管理を行っているミカン園において地元の西海市立西海東小学校の 3 年 1 組の生徒 24 名がミカンの収穫体験を行った。社会科の授業の一環として西海市の特産品であるミカンの 1 年を通しての管理作業等を学習し、西海市の基幹産業である農業に関心を持ってもらえるよう取組を行った。

収穫体験後に残ったミカンは 3 年ぶり開催された西海市主催のイベント「ぎゅぎゅっと！西海フェス 2022」で販売を行いながら、西海市農業振興公社の PR も行った。

農地管理状況内訳表

令和 5 年 3 月 31 日現在 (㎡)

町名	借受農地		貸出農地		未貸出農地	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
西彼町	6	3,970	6	3,970	0	0
西海町	5	9,759	5	9,759	0	0
大瀬戸町	4	362	4	362	0	0
大島町	334	179,551	281	153,724	53	25,827
合計	349	193,642	296	167,815	53	25,827



西海市立西海東小学校 3 年 1 組 社会科学習 (みかん収穫体験)



「ぎゅぎゅっと！西海フェス」でのミカン販売

### 3. 農作業支援事業

繁忙期における農作業の支援対策として、堆肥散布作業や、田植え作業・稲刈作業・籾乾化作業等の受託作業を行った。

令和4年度は稲刈り時期に雨が多く、希望した日時での稲刈り作業が出来ない農家も数件あったが、目標面積の950aに対し1,106aの実績を上げることが出来た。これは前年実績の919aに対して20%増となる面積である。

令和4年度だけでも新規に稲刈りを依頼してきた農家は11戸あり、今後も作業依頼が増えることが想定される。令和5年度からは籾乾燥機を1台増設して、3台体制で今後ますます増えることが予想される作業依頼に対応していきたい。

また、田植え作業については計画面積の100aを上回る128aの作業実績であったが、作業機械の能力を考えると更なる作業受託が可能であり、農業従事者の高齢化が進むことを考えれば益々作業依頼は増えてくると考える。しかし、今までは市内の水稲農家への事業の認知度が低く利用する農家が少なかったことから、今年度は「西海市地域農業再生協議会」事務局の協力のもと令和5年度産の水稲共済細目書の送付時に農作業支援事業のチラシを同封してもらい、市内の水稲農家へ周知を行った。今後益々当事業を活用する水稲農家が増えることが期待できる。

項目 年度	受委託作業名			
	田植面積	稲刈面積	乾燥籾数量 (依頼件数)	堆肥散布 受託数量
令和4年度	128 a	1,106 a (52件) 内 RC 持込 281 a (13件)	1,449 袋 (43件) 内 籾乾燥のみ 187 袋 (4件)	27 t
令和3年度	75 a	919 a (44件) 内 RC 持込 264 a (10件)	1,369 袋 (38件) 内 籾乾燥のみ 97 袋 (2件)	21 t
令和2年度		646 a (30件)	1,110 袋 (30件)	14 t
令和元年度		505 a (24件)	1,030 袋 (27件)	112 t
平成30年度		277 a (13件)	455 袋(13件)	164 t
平成29年度		56 a (4件)	4件 (6回)	106 t
平成28年度		55 a (4件)	4件 (7回)	98 t



稲刈り作業



田植え受託作業

#### 4. 公社 PR 事業

公社事業の PR については令和 3 年度からインスタグラム等の SNS を活用した事業内容の PR を行った他、令和 4 年度は「西海市地域農業再生協議会」事務局の協力のもと令和 5 年度産の水稻共済細目書の送付時に農作業支援事業のチラシを同封し、事業の周知を行った。

今後も公社の事業内容を市民の方々に知って頂けるように PR を積極的に行い市民の方々の更なる公社の利用を促していきたい。

また、農地中間管理事業を進めて行くなかで農地情報の収集は重要であり、より多くの情報収集の為に公社の事業内容の周知を行う必要がある。

#### 5. 6 次産業化推進事業

年度当初に計画していた、令和 3 年 4 月に長崎県工業技術センター内にオープンした食品開発支援センターの「6 (シックス) プロジェクト」メンバーでの視察も開催できず、地元農産加工グループの商品の PR も兼ねて参加をしていた商工会等が主催する物産展の開催も無く、新型コロナウイルスの影響により様々な活動が制限されて 3 年目を迎えた。しかし、令和 5 年 2 月には 3 年ぶりとなる「JA 祭」が開催され市内の加工グループに出店を依頼したところ、「元気やさい雅」・「雪浦農産加工所」・「松島加工所」の 3 グループに出店して頂き、大変賑わい、各加工グループの様々な商品の PR の場となった。今後も市内の加工グループとは連携を取りながら活動の支援をしていきたい。

また、西彼農業高等学校の食品加工部の生徒達と共に取り組んでいる西海市の農産物を原料にした新商品開発事業についても、新型コロナウイルスの影響により部活動も制限が掛けられた中での活動であった。その中でも、野菜のペーストを使用したバタークリームやそれを挟む野菜のマカロン等の試作に取り組んで頂いたが、分量の配合量や発酵させる時間などがまだ手探りの状態であり、今後の課題となっている。

市内加工グループ JA 祭出店





令和4年度収支決算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

科目	(b) 決算額	法人会計	農地管理事業	農作業支援事業	6次産業化推進事業	農地中間管理事業	備考
1. 事業収入 (1) + (2)	10,762,697	6,103	576,549	3,245,139	86,020	6,848,886	
(1) 受託収入	10,224,704	0	552,679	2,823,139	0	6,848,886	
農作業受託収入	2,823,139			2,823,139			
農地貸付収入	552,679		552,679				
委託料	0						
農地中間受託収入	6,848,886					6,848,886	
(2) 雑収入	537,993	6,103	23,870	422,000	86,020	0	
預金利息	103	103					
販売収入	102,900		22,850		80,050		
雑収入	434,990	6,000	1,020	422,000	5,970		
2. 補助金収入	13,454,037	12,646,740	595,414	0	211,883	0	
公社運営補助金収入	13,454,037	12,646,740	595,414	0	211,883		
3. 基本財産運用収入	400	400					
(A) 当期収入合計	24,217,134	12,653,243	1,171,963	3,245,139	297,903	6,848,886	
前期繰越収支差額	5,103,449	2,050,972	558,774	2,566,240	▲ 72,537		
(B) 収入合計	29,320,583	14,704,215	1,730,737	5,811,379	225,366	6,848,886	

II. 支出の部

科目	(b) 決算額	法人会計	農地管理事業	農作業支援事業	6次産業化推進事業	農地中間管理事業	備考
1. 一般管理費	12,666,740	12,666,740	0	0	0	0	需用費 内訳
報酬	1,920,000	1,920,000					消耗品 296,273
給与	6,261,400	6,261,400					燃料費 44,778
賃金	0	0					光熱水費 255,340
通勤手当	464,400	464,400					修繕費 13,750
福利厚生	1,436,388	1,436,388					印刷費 0
旅費	30,800	30,800					食糧費 5,040
需用費	615,181	615,181					需用費計 615,181
役務費	195,779	195,779					
委託料	497,024	497,024					
使用料及び賃借料	752,028	752,028					
負担金	4,000	4,000					
公課費	71,000	71,000					
退職者共済掛金	398,740	398,740					
交際費	20,000	20,000					
2. 事業費	11,631,190	0	1,171,963	3,384,975	225,366	6,848,886	
(1) 農地管理事業	1,171,963	0	1,171,963	0	0	0	需用費 内訳
賃金	41,360		41,360				消耗品 66,493
福利厚生費	158		158				燃料費 139,919
旅費	0		0				光熱水費 27,049
需用費	326,301		326,301				修繕費 92,840
役務費	107,860		107,860				需用費計 326,301
使用料及び賃借料	503,884		503,884				
委託料	33,000		33,000				
負担金	146,300		146,300				
公課費	13,100		13,100				
(2) 農作業支援事業	3,384,975	0	0	3,384,975	0	0	需用費 内訳
賃金	1,066,900			1,066,900			消耗品 98,269
福利厚生費	4,386			4,386			燃料費 261,878
需用費	867,300			867,300			光熱水費 25,155
役務費	125,089			125,089			修繕費 481,998
備品購入費	1,254,000			1,254,000			需用費計 867,300
公課費	67,300			67,300			
(3) 6次産業化推進事業	225,366	0	0	0	225,366	0	需用費 内訳
賃金	0				0		消耗品 704
旅費	1,100				1,100		燃料費 0
需用費	704				704		光熱水費 0
役務費	20,922				20,922		修繕費 0
使用料及び賃借料	640				640		需用費計 704
委託料	200,000				200,000		
原材料費	0				0		
負担金	2,000				2,000		
(4) 農地中間管理事業	6,848,886	0	0	0	0	6,848,886	需用費 内訳
給料	4,719,492					4,719,492	消耗品 101,217
福利厚生費	809,371					809,371	燃料費 83,452
旅費交通費	3,300					3,300	修繕費 0
需用費	184,669					184,669	需用費計 184,669
役務費	179,214					179,214	
使用料及び賃借料	608,440					608,440	
通勤手当	344,400					344,400	
3. 予備費	0	0	0	0	0	0	
(C) 当期支出合計	24,297,930	12,666,740	1,171,963	3,384,975	225,366	6,848,886	
(A-C) 当期収支差額	▲ 80,796	▲ 13,497	0	▲ 139,836	72,537	0	
(B-C) 次期収支差額	5,022,653	2,037,475	558,774	2,426,404	0	0	

# 正味財産増減計算書

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位:円)

科目	非収益事業	収益事業	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託収入	0	10,224,704	10,224,704
農作業受託料	0	2,823,139	2,823,139
農地貸付料	0	552,679	552,679
委託料	0	6,848,886	6,848,886
雑収入	6,103	281,890	287,993
預金利息	103	0	103
販売収入	0	102,900	102,900
雑収入	6,000	178,990	184,990
補助金収入	12,646,740	807,297	13,454,037
公社運営補助金収入	12,646,740	807,297	13,454,037
基本財産運用収入	400	0	400
基本財産運用収入	400	0	400
<b>経常収益計</b>	<b>12,653,243</b>	<b>11,313,891</b>	<b>23,967,134</b>
(2) 経常費用			
事業費	0	19,088,521	19,088,521
役員報酬	0	1,536,000	1,536,000
給料	0	9,203,822	9,203,822
賃金	0	1,108,260	1,108,260
福利厚生費	0	1,785,447	1,785,447
旅費交通費	0	4,400	4,400
需用費	0	1,378,974	1,378,974
役務費	0	433,085	433,085
使用料及び賃借料	0	1,112,964	1,112,964
委託費	0	233,000	233,000
公課費	0	151,400	151,400
負担金	0	148,300	148,300
通勤手当	0	669,480	669,480
減価償却費	0	1,323,389	1,323,389
管理費	5,444,484		5,444,484
役員報酬	384,000		384,000
給料	1,777,070		1,777,070
福利厚生費	464,856		464,856
旅費交通費	30,800		30,800
需用費	615,181		615,181
役務費	195,779		195,779
使用料及び賃借料	752,028		752,028
委託料	497,024		497,024
交際費	20,000		20,000
負担金	4,000		4,000
通勤手当	139,320		139,320
退職者共済掛金	398,740		398,740
減価償却費	165,686		165,686
<b>経常費用計</b>	<b>5,444,484</b>	<b>19,088,521</b>	<b>24,533,005</b>
評価損益等調整前 当期経常増減額	7,208,759	△ 7,774,630	△ 565,871
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>7,208,759</b>	<b>△ 7,774,630</b>	<b>△ 565,871</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	249,997	249,997
什器備品売却益	0	249,997	249,997
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>249,997</b>	<b>249,997</b>
(2) 経常外費用	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期経常外増減額	0	249,997	249,997
他会計振替前当期一般正味財産増減額	7,208,759	△ 7,524,633	△ 315,874
他会計振替額	△ 7,524,633	7,524,633	0
当期一般正味財産増減額	△ 315,874	0	△ 315,874
一般正味財産期首残高	29,697,776	0	29,697,776
一般正味財産期末残高	29,381,902	0	29,381,902
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	29,381,902	0	29,381,902

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I. 資産の部		II. 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
普通預金	8,079,702	未払金	2,953,201
未収金	1,200	預り金	190,770
立替金	2,357		
流動資産合計	8,083,259	流動負債合計	3,143,971
2. 固定資産			
基本財産	20,000,000		
車輛運搬具	2		
器具備品	670,961		
機械装置	3,771,651		
固定資産合計	24,442,614	負債合計	3,143,971
		III. 正味財産の部	
		正味財産	29,381,902
資産の部合計	32,525,873	負債及び正味財産合計	32,525,873

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
普通預金	長崎西彼農協 大瀬戸支店	5,857,033
	十八親和銀行大崎支店	2,222,669
未収金	3月分アイス売上	1,200
立替金	従業員源泉所得税立替分	2,357
流動資産合計	8,083,259	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	長崎西彼農協 大瀬戸支店	20,000,000
(2) その他の固定資産		
車輛運搬具		2
器具備品		670,961
機械装置		3,771,651
固定資産合計	24,442,614	
資産合計	32,525,873	
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		2,953,201
預り金	従業員預かり源泉所得税等	190,770
流動負債合計	3,143,971	
2. 固定負債	0	
固定負債合計	0	
負債合計	3,143,971	
正味財産	29,381,902	

# 監査報告

令和 5年 6月 8日

一般財団法人西海市農業振興公社

代表理事 北川 和道 様

監事 林 浩三 

監事 松野 栄松 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況についての報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの付属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上